



相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」
西中スタンダード「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

平成29年度 学校自己評価報告

2学期末に実施させていただいた学校自己評価アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。アンケートの結果については、裏面に掲載させていただいておりますのでご覧ください。学校自己評価より見えてきました今年度の成果と課題につきましては、よりよい学校づくりのために次年度の学校運営に活かしてまいります。今後とも、本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしく願いたします。

◆生徒・保護者アンケートの結果より◆

【主に学校生活に関すること】

『私は、学校が楽しい』と答えた生徒が昨年度を上回り、家庭でも同様にとらえられていました。少数ではあっても「あまり楽しいと感じない」生徒がいるという視点から、今年度より行っている学校環境適応感尺度(アセス)調査やスクールカウンセラーの拠点校配置を生かした教育相談の充実を更に進め、個々の生徒を大切に見守ってまいります。また、本校が大切にしている福祉交流活動、人権教育、道徳や学級活動で人の温かさや優しさに触れる授業を多く行っていることが、『思いやりや協力』といった項目での生徒の積極的な評価につながっていました。

『服装・身なり』『挨拶』『時間』については、生徒による自治を理念とした『生徒会活動への取り組み』の成果であるにとらえています。一方で、『歌声のある生活』については厳しい評価であると受け止め、西中スタンダードへの取り組みを振り返って、来年度の改善に向けて取り組んでいきたいです。

【主に学習に関すること】

『家庭学習が基礎学力を身につけるために役立っている』ことを多くの生徒が感じており、先生方が工夫をして分かりやすい授業をしていると受け止めているようです。この傾向は昨年までと同様ですが、保護者の立場からはその姿を感じとれないようです。本校生徒の家庭学習の時間が短いことや学習の成果がテストの結果などからしか見えないことが原因と考えられます。『自らの目標に向かって努力している』では、夢や目標に向かっての努力にとらえて肯定的な回答をしている保護者と、学習の努力と受け止めて回答をした生徒との違いもあったのではないかと考えられ、設問の見直しも必要と感じています。

『自分の考えを説明したり発表したり』『よりよく問題を解決する力』は、今年度も課題となりました。生徒も保護者も40%前後が消極的な回答をしています。学校でも本校生徒の課題にとらえており、主体的・対話的な学びを意識した授業の構成や田毎祭等で発表の場の設定などの工夫をしていますが、生徒の自信や自己肯定感の高まりにまで成果を得られていないようです。学期末には、各教科担任の授業力向上のために、生徒による授業評価も行っています。知識・理解に偏重することなく、社会に出て生きてはたらく学力を身につけるため、「教わる」から「学ぶ」学習へ深化していけるよう粘り強く取り組んでいきます。

【主に地域・家庭での生活に関すること】

西中生のさわやかな『挨拶』について、地域の方々から多くの好意的な声をいただいています。『時間』『清掃美化』など生活に関わる項目で90%前後の生徒が積極的な回答をしている反面、保護者の回答との乖離が見られます。学力・学習状況調査でも、毎年、家庭生活や地域とのつながりについて高い結果が出ています。学校での姿が家庭に十分に届いていないのか、生徒の生活が学校と家庭で大きく違っているのか、参観日での懇談やPTA活動を通してともに考えていく必要があるところです。

【主に家庭と学校の連携に関すること】

学校から家庭への情報発信について90%を超える保護者の肯定的な回答を得られました。4月よりコミュニティスクールとして地域の方々に学校の教育活動に関わっていただく機会も増えました。地域に開かれた学校づくりのために大切にしている部分でもあり、『地域の方が集う学校』でも同様の傾向が見られたことから、今後もよりより学校づくりのための情報発信の充実に取り組んでまいります。

◆学校評議員の方々からの意見◆

学校自己評価の結果について、2月2日(金)に行われた学校評議員会で評議員の方よりの評価とご意見をいただきました。その内容を紹介させていただきます。生徒・保護者の皆様からのアンケートの結果、自由記述にいただいたご意見と合わせて、次年度の教育活動に反映させてまいりたいと思います。

【主に学校生活に関すること】

- ・楽しい学校づくり、向上心、心身の健康、学習しやすい環境づくり、指導力の向上、進路指導について、先生方が同じ姿勢で努力されている点、少しずつ実となってきているように思います。今後も、全職員で取り組むことを大切にしていきたい。
- ・学校生活が楽しいことが一番だと思う。真剣に子どもに向き合う先生、親身になって相談にのっている先生が、

保護者に理解され、評価されていること、素晴らしいことだと思います。

- ・「歌声のある生活」昨年より数字的に下がっているように思います。歌声が響く学校は、活力があるように思います。西中のスタンダードを大切にしていきたい。
- ・学級づくり、生徒会、校内生活に置いて、生徒の自主性や自治能力は欠かせないと思います。先生方の指導のもと、こうした力をつけていくことが生きてはたらく学力だと思います。この力がついてくれば、学習への取り組み、家庭学習への取り組みも向上するように思います。また、いじめもなくなります。指導と自主性を今後も大切にしていきたい。

【主に学習に関すること】

- ・自己表現力に自信がないようです。意見を言う場面で、小声・早口が気になった。普段から、ゆっくり大きな声で発言することが大切だと思う。思春期で難しい年頃でもあるかと思うが、個人で発表したり、説明したりを複数、又はグループでの発表や説明の機会を作り、体験させていきたい。
- ・家庭学習が少ない生徒の背景に、テレビやDVD、ゲームがある。ここをどうしていくか難しい問題である。家庭学習をする楽しさや必要性を伝えていきたい。教師の根気強い支援と励まし、評価が大切であるように思う。
- ・学力テストの結果のみで甲乙を判断しないで、主体的に学ぶ習慣を身につけさせることを修得させる。中学生のこの時期は人間性、相手（人）との調和を養う。自己の将来への道を見出す時期でもあると思う。テスト結果のみで学力が向上したという錯覚を持たせないためにも、一日一日、一時間一時間を大切にする心構えを学ぶ時であると思う。

【主に地域・家庭での生活に関すること】

- ・家庭学習の習慣化が不足していると感じている家庭が多い。スマホやパソコン使用の時間が多いが、家庭での指導や話し合いはできているのでしょうか。家族で話し合う機会を持って、積極的に対応してほしい。
- ・進んで挨拶してくれる生徒さんが多いです。先に挨拶をいただくと、とても気持ちがいいです。嬉しい気持ちになります。

【主に家庭と学校の連携に関すること】

- ・保護者の否定的な評価の率が全体的に高い。期待が大きいのか、全て学校まかせにして不満を言っているのか…。親として、学校（先生）を信頼する姿を子どもに見せてほしいと思う。
- ・先生が今一つ生徒達の気持ちをつかみ切れていない、お互い懐に飛び込んでいない印象もあります。それが保護者の回答結果に見られるのではないかと。
- ・保護者は学校に期待することが多いと思うが、家庭での役割もあると思うので、保護者に対しての学校からの積極的な啓発も必要ではないかと。

【その他】

- ・授業での指導に集中できるように、精選するところは精選して、教材研究等、生徒のために時間を使っていたきたい。明るい学校、明るい先生が、生徒にとって何よりです。自信をもって日々の実践に取り組んでいただきたい。応援しています。
- ・子どもたちが成長していく中で、学校で学ぶことも大切であるが、家庭・地域全体で見守っていかなくてはいけないと思う。学校支援ボランティアをもっと活用していただきたい。
- ・千曲型コミュニティスクール（CS）についての発信方法を検討する必要があると思う。学校だよりにあったような、西中の取り組みをしっかりと伝えていただければ理解されると思う。保護者は当然ながら、ボランティア、各種団体（公民館利用等）、地域の方々が、CSを通じて学校とつながり、関係が強くなると思われる。
- ・保護者アンケートの要望にCSの設置についての記述がありましたが、学校もこの内容に限らず、何度もニュースを流していただきたい。
- ・少子化や中高一貫校、私立の存在、公立中としてのあり方が問われる時代です。公立中の良さをアピールしてください。

<文責：教頭 畑>

【1・2年生保護者様へ】

- ◆「**長野県民交通災害共済**」のチラシをお配りしました。千曲市では、中学生以下の子どもについて、市で団体加入の手続きを行い全員が長野県民交通災害共済に加入をしています。万一お子さんが交通事故（自転車の転倒など単独事故を含む）に合われた場合には、実入院2日目からお見舞金が支給されますので、チラシの問い合わせ先まで連絡をするようお願いいたします。
- ◆ **長野県PTA連合会「小・中学生総合補償制度」**の資料を配布しました。すでに、ご加入いただいている場合は中学卒業まで自動継続ですので新たに加入手続きをしていただく必要はありません。学校生活や登校下校、PTA行事、遊んでいるときなど、いつでも、どこでも24時間補償です。自身のケガの補償だけでなく、学校のガラスを割ってしまった、自転車で人にぶつかってケガをさせたなどの賠償責任も補償されます。PTA連合会による補償制度なので、保護者の立場から考えられた内容となっています。加入は任意ですが、パンフレットをご一読いただき、ご検討ください。